

1) 「お母さんと子ども、どっちが大きい？」と問う。
2) 不等号 (<, >) を切り貼りで置いて大小関係を表すとを教える。不等号は「大きい方に口を開ける」と説明。
3) 全問正答まで仕上げ。

a) 親子ペアでの大小の比較は、視覚的判断に生活
上の概念的判断が重なる。
b) 不等号による応答形式になじむ記号体験。不等号は、
視覚的な象徴性があるので幼児にも理解が可能だが、評
価には慣れを要するので、ムリはしない。



どっちがおおきい？

